

談話室

第18回表面科学基礎講座 —表面・界面分析の基礎と応用—

小蒲 哲夫・大谷 文章*

三菱電機(株)材料デバイス研究所
〒661 川崎市塚口本町 8-1-1*京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学教室
〒606-01 京都市左京区吉田本町

(1994年12月12日受理)

The 18th Surface Science Lecture Course

Tetsuo OGAMA and Bunsho OHTANI*

Materials & Electronic Devices Lab.,
Mitsubishi Electric Corp.

8-1-1, Tsukaguchi-honmachi, Amagasaki, Hyogo 661

*Division of Energy and Hydrocarbon Chemistry,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Kyoto 606-01

(Received December 12, 1994)

関西地区でも秋季に表面科学基礎講座を開催するようになって4年目の平成6年度は、前年度同様「表面・界面分析の基礎と応用」と題して、11月10日と11日の2日間、大阪の三田出版会の会場で開催された。多少景気の回復は見えつつあるものの、依然きびしい昨今の経済事情から、当初は参加者が少なくなることが危惧された。しかしながら講座・セミナー委員会および関西支部の関係各位のご尽力もあり、結局90名の受講者があった。

これまでの基礎講座の受講者のアンケート結果を参考にしつつ、基本的にはこれまで同様に表面分析の基礎をじっくり勉強できるものを狙い、内容的には前年度とはほぼ同じものとするものの、一部講師の交代による刷新を

試みた。今回の具体的な講義内容は下表に示したとおりである。2日間でこれだけの内容を実施するため、多少時間的に苦しい面もあったが、講師の方々の配慮により、各講義とも時間内に基礎から一部最近の応用例までをカバーした充実したものとなった。前年度から各講義の間毎に10分間の休憩を入れるようにしたので、受講者はそれ以前よりは聞きやすくなっていると思われるが、講義直後の質問の時間が多少足りないものもあった。

質疑応答をより充実したものにするため前年度より取り入れた、質問票の配布とそれに対する講師の応答を今回も両日とも実施した。比較的基本的なものから、実際に分析などの業務を行う上で抱えているきわめて高度なものまで多くの質問が寄せられ、有意義な時間が持てた。しかしこれも、質疑応答を繰返して疑問を完全に解消していくまでの時間のないものがあり、時間終了後、ロビーで個別に講師と話し合っている光景も見られた。

今回のアンケート集計結果から見ると、ここ数年は同じ傾向が多い。すなわち参加の動機として基礎を勉強し直したいという参加者が最も多く、基礎講座の開催頻度や開催時期、日数に関しても現状に満足する声が多かった。例年同様な内容で継続しているこの種の基礎講座の狙いが妥当であると考えることができる。今回はこれまで以上に内容については好評であったが、ただ、今後基礎講座で取り上げてほしい分析技術や取り組んでほしいもの(材料別の講座など)、テキストの事前配布の希望も一部あった。これらのアンケート結果や希望は、当基礎講座の一層の充実のため、今後講座・セミナー委員会で検討・改善されることになろう。

なお平成7年度春季の基礎講座は、6月7日から3日間東京の総評会館で開催されることになったので、これにも多数の方々のご参加をお願いしたい。

最後に、本講座の企画・運営にご協力いただいた講座・セミナー委員会、事務局、関西支部はじめ関係者の方々に、紙面を借りて深く感謝する。

第18回表面科学基礎講座プログラム (1994年11月10~11日, 於三田出版会)

1. 表面・界面分析概論	福田 安生(静大電子研)
2. FT-IR, ラマン分光	石田 英之(東レリサーチセンタ)
3. 電子顕微鏡 (TEM)	柴富 邦夫(日本電子)
4. 走査プローブ顕微鏡 (STM/AFM)	森田 清三 (広大理)
5. 電子線マイクロアナライザ (EPMA)	平居 暉士 (島津)
6. 討論	(福田, 石田, 柴富, 森田, 平居)
7. 電子分光装置の基礎	大岩 烈 (アルバック・ファイ)
8. オージェ電子分光法 (AES)	大村 卓一 (松下テクノロジー)
9. X線光電子分光法 (XPS)	添田 房美 (東レリサーチセンタ)
10. ラザフォード後方散乱 (RBS)	吉岡 芳明 (松下テクノロジー)
11. 二次イオン質量分析法 (SIMS)	工藤 正博 (成蹊大)
12. 討論	(大岩, 大村, 添田, 吉岡, 工藤)